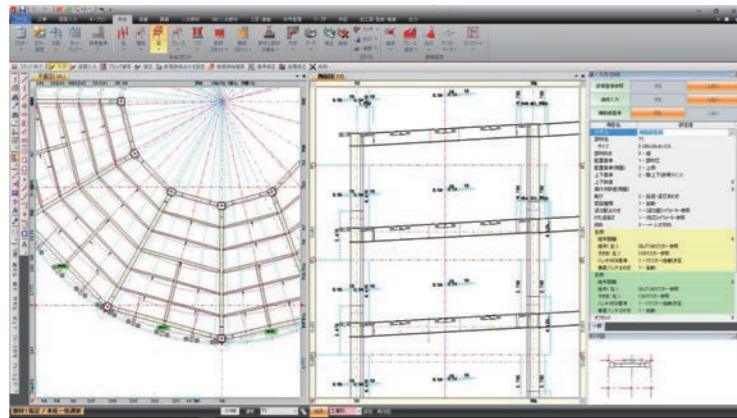
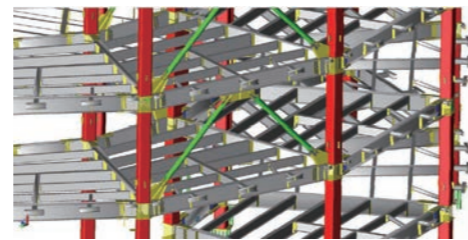


# S/F REAL4

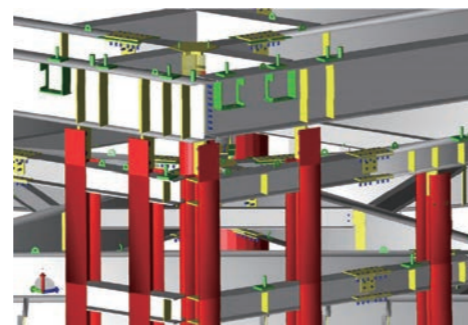
業務全体の能力底上げをサポートする鉄骨専用CAD



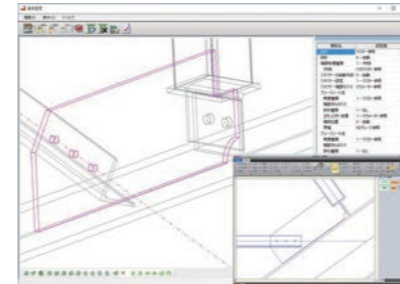
平面、立面どちらからでも入力可



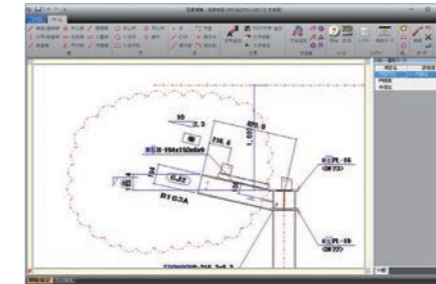
3Dモデルはリアルタイム構築



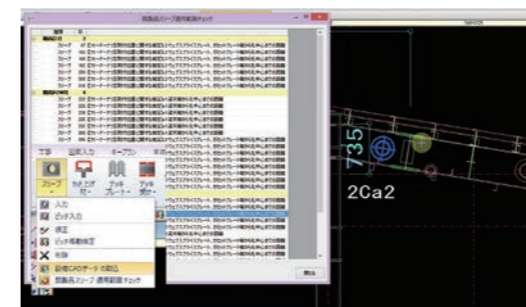
プレート組み合わせで自由に部品を作成



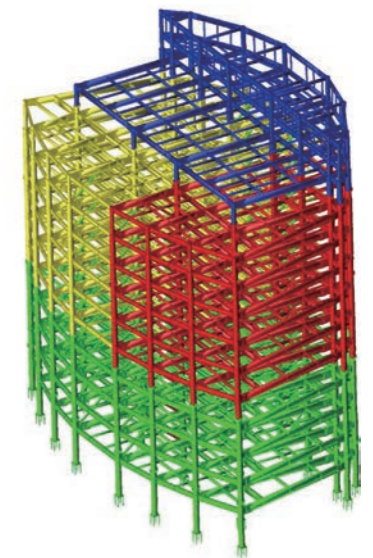
継手、ダイアなどの各板を直接編集できる



図面調整もシステム内で行って保存



設備CADからスリーブ情報を読み込める



独自の区分で効率的に管理

## 概要

S/F REAL4は、鉄骨制作に関する一般図、詳細図、加工図、NCデータ、各種帳票などを自動で生成するCADである。そのデータは3次元で構築され、各種BIM関連データと互換性を持つ。また、詳細なデータを内包するため、あらゆる業務にデータを流用できる。

### ■分かりやすく誰でも使える

S/F REAL4の大きな特長はその分かりやすさである。

第一に「リアルタイム3D」。柱1本、梁1本、入力ごとに3Dモデルがリアルタイムで構築されるため、イメージが掴みやすい、入力間違いにすぐ気付く、3Dを見ながら部材の取合いを相談できるなど、作業を円滑に進められる。

第二に「部材同士の取合い自動」。部材同士の溶接や継手などは入力時に自動的に設定される。このため入力が圧倒的に速く、また、鉄骨制作の経験が浅い担当者でも一通りの作図が行える。新入社員や事務職の社

員などがREAL4を使っている企業の実例もあり、人を選ばない柔軟な社内運用が可能である。

### ■入力の自由度が高い

S/F REAL4は、自動CADのルールに沿わないケースにも各種機能で対応する。

「特殊部品」機能は、3D空間上でプレートを組み合わせることで、様々な部品を自作できる。PCファスナー、ライスタラップ、既設取合いガセットなど、応用次第でかなりの種類の部品を作って設置できる。型紙への展開、管理資料へも出力される。

また「CAD編集」機能は、ガセット、ダイアフラム、リブなど各所の様々な板を編集する機能。線の単位で汎用CAD的に形状を編集でき、複写によって好きな場所へコピーできる。

ほかにも「補助線を応用」することで、部材を補助線に沿うように配置できるため、R梁、階跨ぎ梁、火打ち梁などを感覚的に入力できるのも特長。

“後で汎用CADを使ってこの部品だけ書き足そう”と思っても、書き忘れや伝え漏れなどが発生することがある。機能を駆使してほとんどの部材をS/F REAL4上で入力すれば、後工程でのミスや手間が軽減する。

### ■修正や仕様変更に対応

“図面がなかなか決まらない”“急きょ仕様変更されることになった”という時に図面を全て書き換えるのは大変な作業だが、S/F REAL4なら変更があった場所を修正するだけで物件全体を再構築し、図面も全て書き換わる。

また、「図面編集」「レイアウト」機能では汎用CAD的な図面の調整作業が可能で、調整した内容はS/F REAL4上に保存されるため、書き換わった図面にもそれらの調整を適用できる。このように急な変更があっても工程への影響を最小限に抑え、高い対応力を維持することが可能である。

### ■管理の補助ツールとしても有用

工区、塗装、建方などの区分ごとに部材を色分けし、図面や管理資料を出し分けできる。またこの分類はユーザが独自に定義できる。これにより、例えば3Dビューで独自の色分けをする、発注先や協力会社ごとに図面や管理資料を出し分ける、あるいは修正日ごとに部材を分けて対象の部材だけ加工図を出す、などといった管理補助的な使い方も可能である。S/F REAL4の機能は管理の煩雑さを軽減し、ミスを減らすことができる。

### ■データをフル活用して業務全体を最適化

高いシェアを占めるS/F REAL4は、多くの協力会社とデータの共有が可能。会社間で図面ではなくデータを受け渡しすれば、図面に起こす作業や指示漏れなどが減り、管理の手間が省ける。

また、S/Fシリーズのその他のソフトにも連動できる。例えば「S/F見積積算」と連動する場合は、依頼された見積もりにつ

いて、まずS/F REAL4で物件を粗入力。それを「S/F見積積算」に連動させると、全ての鋼材が自動的に入力され、すぐに正確な見積もりが作成できる。受注後は、粗入力されたデータを調整して図面を出力すればよいので、工程を速やかに進められる。

また、「S/F最適取合」と連動する場合も、S/F REAL4から正確な鋼材データをすぐに入力できるので、入力の二度手間がなくなる。

S/F REAL4は物件に関わる大量のデータを正確かつ詳細に包括するため、活用することで他の業務も最適化する。

### ■BIM関連機能に対応

S/F REAL4はBIM関連の機能にも対応している。データ連動の面では、「ST-Bridge」「SS3」形式のデータの読み込みや、「IFC」「3D-DWG」ファイルの出力に対応。現場ではS/F REAL4から出力されたIFCと、設備や意匠のCADから出力されたIFC同士を組み合わせ、早い段階で

の干渉確認などに利用されている。

その他、関連機能として「設備CADのスリーブ情報読み込み」に対応し、S/F REAL4上で読み込んだスリーブが正しい適用範囲にあるかどうかをチェックできる機能も備えている。

現在も、様々なBIM関連機能について検証を重ねており、状況の変化に素早く対応するための取り組みを続けている。

## S/F REAL4

標準価格  
要問い合わせ

(株)ドットウエルビー・エム・エス / (株)データロジック

Tel.03-3249-6333  
http://www.dodwellbms.co.jp  
Tel.08387-3-1010  
http://www.datalogic.jp/real4/

### 動作環境

OS Windows10/8.1/8/7推奨  
CPU Corei7(クロックは3.0GHz以上)推奨  
メモリ 16GB以上推奨  
HDD空き容量 10GB以上推奨

▲資料請求番号0000